



■ 山形県出身 薬学部4年

高い専門性と協調性、責任感を持ち合わせた、患者からも医療者からも信頼してもらえるような薬剤師になりたいです。

Q 維持会奨学生として思うことは？

この度、慶應義塾維持会の奨学生として採用していただいたことは、経済面ばかりでなく、精神面でも私の支えとなっています。今後は、維持会の皆様からのご支援のおかげで、塾生としての貴重な学生生活を送ることができているという感謝の気持ちを忘れず、学校生活をより充実したものにして、慶應義塾で学んだことを社会に活かすことで、将来、微力ながらも義塾の発展に貢献できるような人材になりたいです。

Q 一番興味のある授業は？

興味のある授業は、来年度行われる、病院と薬局での実務実習です。これまで4年間で学んだことを、ついに実際の医療現場で実践できるということで、とても興味深い反面、身が引き締まる思いです。実務実習を充実したものにするために、今年度はこれまで学んできた知識の整理をするとともに、秋学期の実務実習事前学習で技術面も磨きたいです。

Q 課外活動で力を入れていることは？

学年が上がるにつれ、授業内容はより専門的になり、難しくなってきたため、今年度はサークル活動などは行わず、勉強とアルバイトに集中してまいりました。経済的な理由で、サークルに時間をかけるかアルバイトに時間をかけるかと言われたら、どうしてもアルバイトを選ぶしかできません。ですので、サークルなどの課外活動に参加できない分、アルバイトを成長の場にするという私なりのポリシーに従い、さまざまなアルバイトに挑戦してきました。集中力を身に付けるために、採点バイトを続けてまいりましたが、最近はコミュニケーション能力や人や物事に対する柔軟性を磨くために、飲食店で働き始めました。

Q 慶應義塾の良いところは？

幅広い分野で活躍なさっている先生方と、志が高く切磋琢磨し合える仲間がいるという点です。塾生としての誇りを持ち、夢に向かって努力することを迷わない、芯の通った信頼できる学友に恵まれ、とても良い刺激となっています。また慶應義塾には、サークルや部活動を通して他学部の人と接点を持つことや、医薬看三学部合同授業を通して医療系他学部の意見を聞く機会があるという、総合大学ならではの強みもあり、常に自分に新しい風を吹き込んでくれる最高の環境です。

Q 今後、学生生活でチャレンジしたいことは？

学年が上がるにつれ、授業内容はますます専門的なものとなり、また、下学年次に学んだ独立していると思っていた知識がどんどん結びついてきて、すべての科目が重要なプロセスだったということがわかり、勉強に対するモチベーションがますます上がりました。今年は来年の実務実習に向けて CBT や OSCE の試験もあるため、これまでの学習の総仕上げをするとともに、実務に必要な、問題発見・解決能力、コミュニケーション能力、リスクマネジメント能力などを身に付けられるよう、普段の学生生活でも意識していきたいです。

Q 卒業後の進路、将来の夢は？

医療の発展や高齢化に伴い、現代医療はますます高度化・複雑化してきていると感じます。そのような時代の変化に合わせた、新たな医療の基盤として、チーム医療が重要視されています。チーム医療は、医療者間、患者—医療者間での信頼関係がないと成り立ちません。そこで私は、高い専門性と協調性、責任感を持ち合わせた、患者からも医療者からも信頼してもらえるような薬剤師になりたいです。